

# 申込方法

## ■申込方法

ホームページ

本学ホームページ「社会貢献・生涯学習」のお知らせに掲載している記事から専用申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力の上お申込ください。

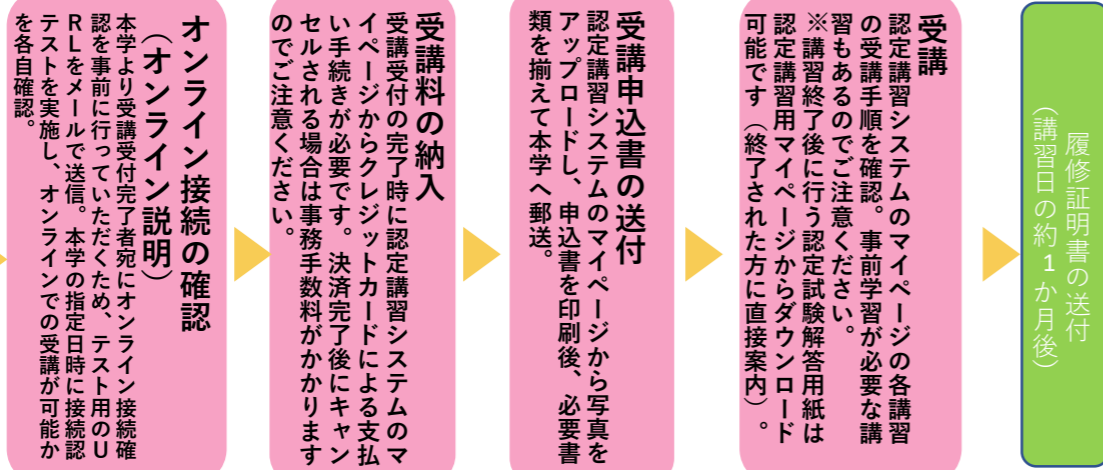
<http://www.hyogo-dai.ac.jp/>

スマホからもお申込できます→



FAX

## ■申込手順



■申込期間 (1次申し込み) 令和4年10月1日(土) 9:00～令和4年10月31日(月) 24:00まで  
(2次(追加)申し込み) 令和4年11月1日(火) 9:00～  
※定員に達した時点で、講習の申し込みを締め切る場合があります。

令和4年度 兵庫大学幼稚園教諭免許法認定講習 申込書 FAX 079-427-9897

氏名	(フリガナ)		性別	生年月日		
			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	西暦	年	月
住所	〒 -					
連絡先	TEL	携帯電話				
	FAX	※必須 E-mail				
勤務先	TEL( )					
幼稚園教諭二種免許状取得年月日	※いずれかに○ 昭和・平成 年 月 日					

受講を希望する科目をお選びください (全て通信教育課程【オンデマンド配信】)			
受講希望	分類	科目名 (単位数)	受講料
	表現	こどもと造形 (1単位)	4,000円
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論 (2単位)	8,000円
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	こどもと言葉 (2単位)	8,000円
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容「表現」の指導法(音楽) (1単位)	4,000円
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 (1単位)	4,000円
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論 (1単位)	4,000円
	大学が独自に設定する科目	発達障害児への支援 (2単位)	8,000円

【お問合せ先】  
兵庫大学 エクステンション・カレッジ  
〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301  
電話: 079-427-9966 FAX: 079-427-9897  
<http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/extension/>  
E-mail: kouza@hyogo-dai.ac.jp

電話・窓口受付時間 9時～17時 (土曜日は16時30分まで。日曜・祝日は除きます)

Access 車 加古川バイパス加古川東ランプより4分  
徒歩 JR東加古川駅北側出口より12分

# 文部科学省 幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業

# 兵庫大学 幼稚園教諭

# 免許法認定講習

令和4年度

## 免許法認定講習とは?

現職教員が上位の免許状等を取得しようとする際に、大学教職課程以外に必要な単位を修得するための講習です。

この講習は幼稚園教諭二種の免許状をお持ちで12年以上在職されている現職の先生を対象に、幼稚園教諭一種の免許状の上進に必要な単位(10単位)を修得するために開講し、その資質の保持と向上を図ることを目的としています。



## 受講対象者

受講対象者は、幼稚園教諭二種免許状を有しており、以下の条件のいずれかに該当する方です。  
 [1] 幼稚園・認定こども園等の勤務年数が6年以上の方  
 [2] 働いていないが、過去の幼稚園等の勤務年数が6年以上の方

※[1][2] 共に10単位修得した時点で申請する場合は、いずれも12年以上の勤務年数が必要となります。

(申請については文部科学省のホームページでご確認ください。)

※手続き方法については、免許管理者(現職の方は勤務地の都道府県教育委員会、教員として勤務されていない方は所在地の都道府県教育委員会)にお問い合わせください。

## 受講料

1単位 4,000円(受講料・教材費含む)

## 【参考】免許法別表第3により上級免許状を所得する場合(幼稚園)

受けようとする免許状		専修	1種												
基礎資格となる免許状		幼稚園1種	幼稚園2種												
模範規程		教育職員免許法別表第3	教育職員免許法別表第3									教育職員免許法施行規則第11条第1項の表備考第3号(注1)			
基礎資格となる免許状を所得した後の幼稚園(特別支援学校の幼稚園及び幼保連携型認定こども園を含む)における教員としての勤務成績良好な必要在職年数		3	5	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	
基礎資格となる免許状を所得した後の最低修得単位数(注2)(注3)		15	45	40	35	30	25	20	15	10	25	20	15	10	
単位数 必ず含めねばならない科目及び (注6)教科及び教職に関する科目	計	15	30	27	24	22	19	15	13	10	20	17	13	10	
	領域に関する専門的事項(注4)	に内容及び教職に関する科目	4	4	3	3	3	2	2	1	2	2	1	1	
		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用含む)(注5)	10	10	10	8	7	7	7	5	7	7	7	5	
	教育の基礎的理解に関する科目	7	5	4	4	4	2	1	1	1	3	2	1	1	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	3	3	3	3	2	1	1	1	1	2	2	1	1	
大学が独自に設定する科目	15(注7)	6	5	4	4	3	3	2	2	6	4	3	2		

(注1) 免許法施行規則第11条第1項の表備考第3号の適用条件

①大学に3年以上在学し、かつ、93単位以上修得 又は ②大学に2年以上及び大学の専攻科に1年以上在学し、かつ、93単位以上修得

(注2) 基礎資格となる免許状の取得後であれば、在職年数の条件を満たす以前に単位の修得を開始した場合でも、すべての条件が整えば申請できます。

例えば、幼稚園教諭1種免許状を取得するための単位を在職年数10年目から修得を始め、11年目に修得終了後、満12年を経過した時点で申請できます。

(注3) 必ず含めねばならない科目及び単位数の合計単位数と最低修得単位数との差は、教科及び教職に関する科目の中から選択します。

(注4) 健康、人間関係、環境、言葉及び表現の領域に関する専門的事項に関する科目のうち1以上の科目について修得します。

(注5) 保育内容の指導法の単位の半数までは、小学校教諭免許状の授与を受けるために修得した各教科の指導法又は特別活動の指導法の単位を使用できます。

(注6) 幼稚園以外の教諭の普通免許状の授与を受けるために修得した教科及び教職に関する科目の単位のうち、下記の単位を使用することができます。

・教育の基礎的理解に関する科目(教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。))を除く。

・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(道徳の理論及び指導法、総合的な学習の時間の指導法、特別活動の指導法並びに教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。))を除く。

(注7) 専修免許状の授与を受ける場合の大学が独自に設定する科目の単位のうち3単位までは、下記の科目に準ずる科目の単位をもって、これに替えることができます。

・保育内容の指導法に関する科目

・教育の基礎的理解に関する科目

・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

・教育実践に関する科目

## 認定講習一覧

単位数に応じて  
受講料が決まります。

教科及び教職に関する科目		科目名	履修可能期間	授業回数	単位数
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	こどもと造形	R4.10.17~R5.2.28	15	1
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用含む)	保育内容総論	R4.10.17~R5.2.28	15	2
		こどもと言葉	R4.10.17~R5.2.28	15	2
		保育内容「表現」の指導法(音楽)	R4.10.17~R5.2.28	8	1
教育の基礎的理解に関する科目		教育心理学	R4.10.17~R5.2.28	8	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		教育方法論	R4.10.17~R5.2.28	15	1
大学が独自に設定する科目		発達障害児への支援	R4.10.17~R5.2.28	20	2

### 受講に関する注意事項

【免許法認定講習の授業の実施方法について】

今回の免許法認定講習の科目は全て通信教育課程として実施します。

授業は全てオンデマンド配信(事前録画された映像を視聴する方法)により実施されますのでご注意ください。

【リアルタイム配信について】

オリエンテーションや認定試験などはリアルタイムで配信します。

リアルタイム配信時の当日受付は開講30分前から可能です。設定等もありますので、遅くとも5分前までにログインを済ませてください。

(遅刻・欠席について)

リアルタイム配信時の遅刻・早退・欠席は認めません。

リアルタイム配信時に遅刻・早退・欠席された場合には、認定試験を受験する資格を失う場合がありますのでご注意ください。

【成績審査の基準について】

認定試験における成績審査の基準は、以下のとおりとします。

- 1.欠席,15分以上の遅刻、途中退席は講習を破棄したものとみなし、成績審査を行いません。
- 2.成績審査については、合格・不合格で評価を行います。
- 3.履修認定は、兵庫大学が実施する筆記試験等による成績審査に合格した者に対して行います。成績審査基準は、次の通りとし、不合格と評価された者のみ不認定とします。各講習とも講習時間を充足しない場合は認定の対象としません。
- 4.認定試験は60点以上で合格となります。  
(評語)：(点数)  
S：100点~90点 A:89点~80点 B：79点~70点 C：69点~60点 F(不合格)：59点~0点

【認定試験の個人成績について】

認定試験における個人成績を本人に限り開示します。開示する情報は評語のみとなります。

※各試験の点数等は開示いたしません。

【その他】

受講中は録音、録画及び写真撮影はご遠慮ください。

【講習の延期・中止について】

講習の公開を延期・中止する場合は、講習当日午前9時までに本学のホームページにてその旨を掲載いたします。

振替日に受講できない場合は、事前に事務局へご相談ください。なお、受講料の返還は致しませんので、予めご了承ください。なお、振替日が中止となった場合は、対象となる講習の受講料全額を返還いたします。

【身体上の特別な配慮を必要とされる方へ】

身体に障がいや有する方にもご利用いただくために、お申し込みの前に必ず本学までお問い合わせください。

また、本学では、次の点についての対応はできませんので、予めご承知おきください。

- (1)受講の際、または終了認定試験時におけるノートテイク・手話通訳・移動補助者等の確保
- (2)テキスト等、配布教材の点字化、拡大化、録音教材化、データ等への加工
- (3)履修認定試験時間の延長

【個人情報の取り扱いについて】

本学が取得した個人情報については、免許法認定講習の目的以外に使用しません。

科目一覧はこちらから！







科目 ことごとと造形					
講師名	満田 知美	単位	1	成績評価の方法と評価の割合 (%)	
授業の概要	造形Ⅰ、Ⅱの内容を踏まえ、こどもの教育にとって共通する「表現すること」の意味や本質を根幹にして造形教育ごとに応じた制作を行う。保育・教育・造形遊びの実践・芸術の各領域で捉えられるアートの概念を総合的に理解し保育現場で実践できるスキルを身につける。			試験	0
				小テスト	0
				レポート	0
				課題・実技	10
				授業内課題	90
				その他	0
主なテーマ	材料を軸とした造形活動、文化的領域と表現の広がり等			合計	100

科目 保育内容総論					
講師名	田井 敦子	単位	2	成績評価の方法と評価の割合 (%)	
授業の概要	保育所や幼稚園での子どもにふさわしい生活について基本的な考え方を学ぶ。保育実践を行う上で基盤となる知識や技能の修得を目指す。今日の保育の課題を整理し、今後の保育の姿を展望し、実践する力につながる素地を培う。			試験	50
				小テスト	0
				レポート	0
				課題・実技	20
				授業内課題	30
				その他	0
主なテーマ	保育内容とは何か、保育内容の実践的理解等			合計	100

科目 ことごとと言葉					
講師名	田井 敦子	単位	2	成績評価の方法と評価の割合 (%)	
授業の概要	子どもの発達における言葉の獲得に関する領域について、乳幼児期の言葉の発達過程や豊かな言葉を育む保育について学ぶ。言葉の発達は、乳幼児期の生活と深く関連していることを踏まえ、今日の社会的状況の変化や子どもをめぐる社会環境の変化など、子どもの言葉に関わる課題や言葉が育つ環境について考える。保育者としての基本姿勢、絵本・紙芝居などの児童文化財の活用方法や保育展開の方法など、保育現場での実践力につながる基礎的な学びが習得できているかを評価する。			試験	50
				小テスト	0
				レポート	15
				課題・実技	0
				授業内課題	15
				その他	20
主なテーマ	子どもの言葉を育む児童文化財・遊び、ことばの発達、模擬保育、言葉に関わる今日的課題と保育等			合計	100

科目 保育内容「表現」の指導法（音楽）					
講師名	立本 千寿子	単位	1	成績評価の方法と評価の割合 (%)	
授業の概要	保育現場での実践力を高めるために、年間を通した乳幼児の育ちや総合的表現という視野から音楽を捉える中で、音楽の活用法を学ぶ。また、乳幼児にとってのねらいを達成する為に必要な具体的な指導方法について学び、実践力を修得する。			試験	30
				小テスト	0
				レポート	10
				課題・実技	30
				授業内課題	30
				その他	0
主なテーマ	手遊びの指導法、幼児とリズム表現、わらべうた等			合計	100

科目 教育心理学					
講師名	松田 信樹	単位	1	成績評価の方法と評価の割合 (%)	
授業の概要	人は生まれてから実にたくさんのことを身につけて発達していく。それを可能にするのが広い意味での教育である。人の人としての発達を支える教育という営みについて、心理学の観点から考える。			試験	40
				小テスト	60
				レポート	0
				課題・実技	0
				授業内課題	0
				その他	0
主なテーマ	教育心理学への導入、学習の心理学、学級集団の理解等			合計	100

科目 教育方法論					
講師名	澤田 真弓	単位	1	成績評価の方法と評価の割合 (%)	
授業の概要	幼児教育・保育現場で実践されている指導法の在り方について幼児理解の観点から解説する。情報機器を活用した効果的な教材作成と幼児の体験との関連について解説する。			試験	80
				小テスト	0
				レポート	0
				課題・実技	0
				授業内課題	20
				その他	0
主なテーマ	子どもの主体性への着目、児童中心主義の教育、幼児教育における直接体験、様々な素材を活用した教材作り等			合計	100

科目 発達障害児への支援					
講師名	原 康行	単位	2	成績評価の方法と評価の割合 (%)	
授業の概要	発達障害のある子どもに関する基本的な知識と具体的な支援方法について演習を通して学ぶ。自閉症スペクトラム障害、LD、ADHD等の障害特性について正しい理解を進める。子ども一人ひとりの状態や特性に応じた支援のあり方、家族への支援について、実践的な力を培うことを目指す。発達障害のある子どもたちを支援する様々な職種との連携について理解を深める。演習では、支援ツール（物）の作成を行い、環境設定を含めた物理的支援の重要性、人的支援の方法に理解を深める。			試験	50
				小テスト	0
				レポート	0
				課題・実技	20
				授業内課題	30
				その他	0
主なテーマ	発達障害のある子どもの理解と障害特性、LD・ADHDのある子どもの理解と障害特性等			合計	100